

風邪と思い込まないで



# 肺炎

はいえん

## 冬の乾燥時期に流行りだす疾患のひとつ、肺炎

2017年の厚生労働省の調査によると、1位 がん、2位 心疾患、3位 脳血管疾患、4位 老衰に続いて、肺炎は日本人の死因第5位で、年間約9万人を超えています。肺炎の初期症状は風邪とよく似ているため肺炎だと気づかないうちに重篤化する危険性があります。高齢者や慢性の病気を持っている方などは、特に肺炎にかかりやすく治りにくい傾向があるので、予防や早めの治療が重要です。

## 肺炎とは

肺に炎症が起きる病気です。健康な時は体内に病原微生物が入ってしまっても免疫機能の働きで病原微生物が肺まで達することはありません。しかし、病気やストレスなどで体力や免疫力が落ちていると細菌やウイルスが肺まで侵入し、肺に炎症を起こすことで肺炎になってしまいます。



## 肺炎と風邪の違い

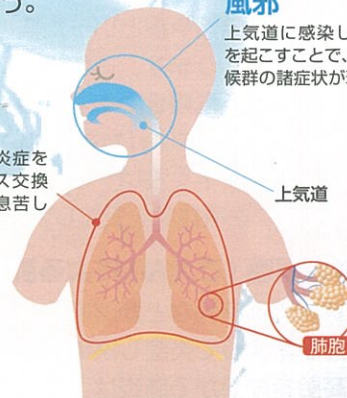
肺炎は風邪の症状と似ているため発見が遅れがちです。胸痛、激しい咳、高熱や痰といった症状が長引くのは肺炎特有の症状です。早めに医療機関を受診しましょう。

### 肺炎

肺胞に感染して炎症を起こすため、ガス交換に障害が生じて息苦しくなる

### 風邪

上気道に感染して炎症を起こすことで、風邪症候群の諸症状が現れる



病名	症状	熱	期間	感染しやすい人
風邪	ウイルスが鼻からのどまでの上気道に感染しておく 発熱、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、咳、痰、咽頭痛、頭痛など	38℃くらいまで	数日～1週間くらい	あらゆる年齢層に発症
肺炎 (肺炎球菌性肺炎)	肺の奥の方で感染し、細菌やウイルスが増殖しておく 胸痛、激しい咳、色のついた痰(黄色、緑色、鉄さび色)、悪寒、全身倦怠感、呼吸困難感、息切れ ※高齢者は典型的な症状が出ないこともある	38℃以上の高熱	長く続く	65歳以上の高齢者、慢性的な病気がある人